

令和6年度



学校だより  
8・9月号

令和6年8月27日

横浜市戸塚区秋葉町203-2

横浜市立川上小学校  
電話 811-9345 FAX811-5961

# かわかみ

## 夏休みを終えて～みんなが輝く姿を目指して～

学校長 堀部 尚久

厳しい暑さで始まり、猛暑日の連続記録や最高気温の記録更新など、各地で熱中症によって体調を崩された方の報道が続いた38日間の夏休みが終わり、いよいよ今日からまた、前期後半の教育活動が始まりました。今夏は、記録的な豪雨や大きな地震の発生等による自然災害や、子どもが巻き込まれる痛ましい事件・事故の報告も、相変わらず絶えない夏休みでもありました。本校の子どもたちにおいては、軽いけがをしたり体調を崩したりして静養を余儀なくされたという報告もありましたが、事件・事故を含めて生命に関わる重篤な事態に至ったという報告はなく、多くの子どもたちは、友達との再会を楽しみにしながら今日の夏休み明け登校を迎えたことと思います。休み中は、保護者の皆様をはじめ、子どもたちを温かく見守りながらお世話をいただきました地域の皆様方には、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、この夏の世界中の話題として、「パリオリンピック2024」が挙げられます。「メダルラッシュの快挙」「悲願のメダル獲得」「連覇の達成」「歴史を変えた勝利」等、連日のように日本選手の活躍ぶりは様々な形で報道され、その一つひとつのドラマは、私たちにたくさんの勇気や希望を感動として与えてくれました。競技の勝者としてメダリストとなった選手、惜しくもあと一步メダルには届かなかった選手、また、世界の壁の高さや大きさを実感させられた選手たちの姿から、改めて勝つ喜びや負けた悔しさを超えたアスリートとしての「輝き」を教えてもらいました。映像を通じた競技後のインタビューからは、世界の頂点としての夢舞台で感じたこと、目標を定めてこれまで磨いてきた力を発揮できるように挑戦したこと、最後まで諦めずに粘り強く一生懸命にやり抜き通したことが、それぞれの重みをもった言葉で語られていました。「自分のために頑張ること、楽しむこと」とともに、「支えてもらった人たちのためにも頑張ること」の尊さが伝わってきました。また、「個人で獲ったメダルよりも、団体に獲ったメダルのほうが、はるかに重たい」「この仲間だからこそ勝てた」など、チームで力を発揮できたことへの喜びを分かち合う声も、私たちの心を打つ言葉となりました。

こうした選手たちの輝く姿は、オリンピックならではのアスリートの「輝き」であり、そこから伝わってくる感動の重みには、計り知れない重さがあります。本校の子どもたちも、あこがれの舞台で見た選手たちの「輝き」を、それぞれが感動として受け止めたのではないかと思います。テレビ視聴による競技観戦かもしれませんが、競技中の選手の姿や競技後の会見の様子が子どもたちの将来の夢やなりたい自分の姿と重なり、これからの自分の「輝き」や学校の「輝き」につながる素敵なロールモデルとなっていることを願うばかりです。

子どもたちの夏休み中の活動では、今年も草花への水やりや稲の観察をするために来校し、その成長の様子を観察記録として整理している姿がありました。地域行事への参画ということでも、7月29日(土)には、特別合唱クラブ、ダンスクラブの子どもたちが、「AKIBA 夏フェス2024」で、合唱やダンスを披露しました。この日のためにと、地道に努力し練習を重ねてきた子どもたちの合唱や創作ダンスは、フェスティバルに参加された保護者・地域の皆様方からたくさんの拍手と大きな声援をいただきました。夕刻からの開催とはいえ、炎天下の屋外で、また、賑やかなお祭りの雰囲気の中で、終始笑顔を決やさず集中力を切らさず、合唱やダンスを演じきった子どもたちからは、本当に健気にひたむきに頑張ろうとする心意気が伝わりってきました。「仲間とみんなで力を出し切った喜び」「チームで創り上げる楽しさ」など、引率に携わった本校の職員とともに子どもたちの「輝き」を目の当たりにして、素晴らしい感動を味わうひと時を過ごすことができました。

夏休み明けの今日の朝会では、「これからの学校生活でやりたいと思うことがありますか、もてていますか」「楽しみにしていることはありますか」「楽しみたいという気持ちをもとうとしていますか」という問いかけを通して、「かがやく わたし かがやく みんな」という姿にみんなで近づこうという趣旨の話をしました。

これまでの仲間づくりを通して、子どもたち同士のかかわりは着実に厚みを増していると思われまふ。心の繋がりも深まりが感じられてきていると思われまふ。夏休み明けの教育活動でも、何事に対しても、特別合唱クラブやダンスクラブの子どもたちが見せた「輝き」のように、一人ひとりの輝き、そして仲間としての輝きを念頭に置きながら、前期後半の学びづくり生活づくりに努めてまいります。子どもたちが学校生活のリズムを取り戻すまでには、しばらく時間が掛かることもあるかと思われまふ。子どもたちの不安を少しでも軽減し、意欲を引き出しながら、笑顔で学校生活が送れるよう、新たな気持ちをもって支援に取り組む所存です。

地域の皆様には、引き続き本校の教育活動へのご理解をいただくとともに、保護者の皆様には、子どもたちの健康観察や精神的な安定に向けたご家庭での見守り、声掛け等、普段の生活習慣の再確認をしていただき、子どもたちの「輝く」姿を楽しみにしながら、温かい声掛けや価値付けをどうぞよろしくお願ひいたします。